××地区防災計画（イメージ）

令和××年×月×日

××地区自主防災組織連絡協議会

１ 計画の対象地区の範囲

２ 基本的な考え方

（１）基本方針（目的）

（２）活動目標

（３）長期的な活動計画

３ 地区の特性

（１）自然特性

（２）社会特性

（３）災害特性

（４）防災マップ

４ 防災活動の内容

（１）防災活動の体制（班体制・連絡網）

（２）平常時の活動

（３）発災直前の活動

（４）災害時の活動

（５）復旧・復興期の活動

（６）関係機関との連携

５ 実践と検証

（１）防災訓練の実施・検証

（２）防災意識の普及啓発

（３）計画の見直し

６ 添付資料

１．計画の対象地区の範囲

「××地区防災計画」は××地区を対象として定める。

 　　【地区の範囲が分かるような防災マップ】

・・・地形図や住宅地図など

２．基本的な考え方

（１）基本方針（目的）

本計画作成の趣旨・目的など、地区防災計画に関する基本的な考え方を記載してください。

（例）

過去の大規模災害時には、救援活動が十分に機能するまでには一定の時間がかかり自助・共助の重要性が認識されました。

私たちの地区では「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めるため、「××地区防災計画」を作成します。

この計画を実行することにより、平常時からの備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」「共助」を着実に実行し、豪雨災害や地震などに備え、地域の防災力の向上に努めます。

（２）活動目標

めざすべき地区の姿や課題などを記載してください。

（例）

* 住民の防災意識の向上
* 住民が安全・安心に暮らせるまちづくり
* 避難行動要支援者への支援体制を構築
* 被災住民の安否確認ルールを構築
* 避難所開設・運営のルールを構築 など

（３）長期的な活動計画

地区の長期的な活動計画を記載してください。

（例）

* ○○年度 地区防災計画の策定
* ××年度 HUG の実施、計画の見直し、防災資機材購入の検討
* △△年度 避難所開設運営訓練、計画の見直し、防災資機材の購入
* □□年度 避難誘導訓練、安否確認訓練及び避難所開設運営訓練、計画の見直し

３．地区の特性

（１）自然特性

地区の地形的な特徴などを記載してください。

（例）

* 山間部に位置しており、斜面地が多い地区である
* 土砂災害警戒区域に指定された場所がある
* 沿岸部に位置しており、津波災害警戒区域に指定された場所がある
* ○○川で氾濫が発生した場合、××ｍの浸水想定がされている など

（２）社会特性

地区の人口や要配慮者の状況など、地区の特徴を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 人口 | 世帯数  | 世帯あたり人員  | 要配慮者数  |
| 人  | 世帯  | 人/世帯  | 人  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 防災関連施設等 | 消防署  | 箇所  |   |
| 警察署・交番  | 箇所  |   |
| その他防災施設  | 箇所  |   |
| 消防施設  | 水防倉庫など  | 箇所  |   |
| 防火水槽  | 箇所  |   |
| 消火栓  | 箇所  |   |
| 防災井戸  | 箇所  |   |
| 主な公共施設  | 公園  | 箇所  |   |
| 指定避難所  | 箇所  |   |
| 広域避難場所  | 箇所  |   |
| 教育関連施設  | 箇所  |   |
| 要配慮者関連施設  | 病院・診療所  | 箇所  |   |
| 社会福祉施設  | 箇所  |   |
| 幼稚園・保育園  | 箇所  |   |
| 防災倉庫  | 箇所  |   |
| 防災行政無線  | 箇所  |   |

災害時に協力が得られる事業所や個人などを記載してください。

（例）

* ○○営業所（発電機３台の提供）
* ○○ガソリンスタンド（発電機用ガソリンの提供）
* ○○さん（元看護師）
* ○○さん（元消防士） など

（３）災害特性

 ① 地震

ａ）地震想定：邑知型断層帯地震　震度７

地区の地震想定及び避難場所を記載してください。

（例）

* 指定緊急避難場所、一時避難場所：○○公園　※安否確認を実施
* 指定避難所：○○小学校、○○地域交流センター（公民館）

　　　※地震発生時は津波や建物倒壊等の恐れがある場合に避難が必要

　　　※指定緊急避難場所：災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所。高岡市が指定

　　　※一時避難場所：災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所。　　自治会等が指定

　　　※指定避難所：災害が発生した場合に避難をしてきた被災者が一定期間生活　するための施設。高岡市が指定

b）液状化の可能性　　あり　／　なし

c）津波被害の可能性　　あり　／　なし

d）避難対象地域　　　　対象地域内　／　対象地域外

津波被害の可能性がありの場合や避難対象地域内の場合、津波の想定及び避難場所、避難が必要な自治会を記載してください。

（例）

* 津波想定：○○ｍ
* 避難が必要な自治会と各自治会の避難先

○○自治会は、○○津波避難ビルへ避難

✕✕自治会は、✕✕学校へ避難

※原則、海岸、河川から離れ、色のついていない部分へ避難すること。

　より高い場所を目指す。

　逃げ遅れたら津波避難ビルなど高い建物へ避難する。

ｅ）住民意見・認識

ワークショップなどで出た住民の意見や危険な場所、地域の特徴的な場所など地域の特性について既に周知の事実を記載してください。

（例） 主要施設の耐震対策、避難経路、避難所の確認など

② 洪水

　a）河川氾濫の影響を受ける可能性　　あり　／　なし

　b）浸水被害の可能性　　　　　　　　あり　／　なし

洪水の想定及び避難場所を記載してください。

（例）

* 浸水想定：○○ｍ
* 自主避難所：○○集会所
* 指定避難所：○○小学校、○○地域交流センター（公民館）など

　　　※自主避難所：高岡市が避難情報を発令していない段階で避難が可能な施設。自治会等が自主的に開設

　　　※指定避難所：災害が発生した場合に避難をしてきた被災者が一定期間生活　するための施設。高岡市が指定

　c）住民意見・認識

ワークショップなどで出た住民の意見や危険な場所、地域の特徴的な場所など地域の特性について既に周知の事実を記載してください。

（例） 避難経路、河川周辺の危険箇所など

③ 土砂災害

　ａ）土砂災害の危険性　　あり　／　なし

土砂災害危険箇所及び避難場所を記載してください。

（例）

* 土砂災害警戒区域外へ避難
* 自主避難所：○○集会所
* 指定避難所：○○小学校、○○地域交流センター（公民館）など

ｂ）住民意見・認識

ワークショップなどで出た住民の意見や危険な場所、地域の特徴的な場所など地域の特性について既に周知の事実を記載してください。

（例） 避難経路、山崩れの危険箇所など

（４）防災マップ

作成済みの場合

防災マップを添付してください。

作成年月を記載し、修正が必要か検討してください。

未作成の場合

防災マップについて検討してください。

４．防災活動の内容

（１）防災活動の体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ 組織体制  | 役員  | 電話番号 |
| 会長（本部長）  |  | 0766-xx-xxxx  |
| 副会長  |   |   |
| ○○班長  |   |   |
| ××班長  |   |   |
| △△班長  |   |   |
| □□班長  |   |   |
| ２ 避難場所  | 施設名 | 管理者 | 電話番号 |
| 担当自治会（担当者） |
| ○○小学校（拠点避難所） |  | 0766-xx-xxxx |
|  | 090-xxxx-xxxx |
| ○○地域交流センター（公民館） |   |   |
|  |  |
| ○○中学校  |   |   |
|  |  |
| ○○会社倉庫（民間） |  |  |
|  |  |
| ３ 関係機関 | 連絡先 | 電話番号 |
| 高岡市役所危機管理課  | 0766-20—1110  |
| ○○地域交流センター（公民館） | 0766-xx-xxxx  |
| ○○消防署  |   |
| ○○警察署  |   |
| ○○病院  |   |
|   |   |
| ４ 特記事項  |   |   |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 班名 | 平常時の役割 | 災害時の役割 |
| 本部  | ・年間防災計画の策定・防災活動体制の検討・決定・関係機関との連携の確保 ・地区住民の防災意識啓発（防災訓練、講座、研修会等の　実施） | ・隊員の招集 ・各班、関係機関との調整 ・避難行動の指示 ・避難所運営の統括・地区内の避難者数及び被害状況の集約・共有・被害状況の市への報告 |
| 消火班 | ・出火防止の啓発 ・初期消火訓練の実施 ・消火器等の点検 | ・出火防止の呼びかけ ・初期消火活動の実施 ・消防機関への協力要請  |
| 避難誘導班 | ・指定緊急避難場所や一時避難場所等への安全な避難経路確認 ・危険箇所の確認 ・避難誘導訓練の実施  | ・避難情報の伝達 ・避難誘導を実施し、避難場所での秩序の維持  |
| 救出救命班 | ・地区内の要支援者の把握 ・救出救命訓練の実施  | ・負傷者等の把握 ・救出活動の実施 ・救急処置の実施 ・負傷者の搬送  |
| 避難所開設・運営班 | ・避難所の開設手順等の確認・避難所の運営手順等の確認 | ・避難所の開錠・避難者の受入れ・避難者の受付・把握 |
| 情報班  | ・情報収集及び情報伝達訓練の実施 ・地震等の正しい知識の普及のため研修会などの開催  | ・公的機関からの災害情報の入手及び伝達 ・避難所における避難者数の把握と市・本部（拠点避難所）への報告・被害状況の収集と本部への報告 |
| 給食給水班 | ・物資の備蓄を呼びかけ ・炊き出し訓練の実施  | ・必要に応じ炊き出しの実施 ・緊急物資の調達、配分  |

××地区タイムライン（台風、水害版）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フェーズ（時間軸） | 活動項目  | 警戒レベル | 行政情報  | 地区担当者  | とるべき行動  |
| ①平常時  | 活動目標の達成に向けて、PDCA サイクルを継続  |
| ②発災直前  | 情報の収集  | １  | 早期注意情報 （大雨、暴風、波浪 など）台風進路予想  | 情報班  | 最新の気象情報を入手し、状況に応じ本部へ報告（テレビ・ラジオ・インターネットで情報入手）  |
| 避難行動の確認  | 避難誘導班  | ハザードマップ等による避難場所・避難経路の確認  |
| ②発災直前  | 情報の収集  | ２  | 大雨注意報等の発表  | 情報班  | 最新の気象情報を入手し、状況に応じ本部へ報告  |
| ②発災直前  | 情報の収集  | ３相当 | 大雨警報等の発表  | 情報班  | 最新の気象情報を本部へ報告  |
| 避難行動の検討  | 本部  | 気象情報等をもとに今後の行動を検討  |
| 避難誘導  | 避難誘導班  | 避難が必要な人を自主避難所へ避難誘導  |
| 情報の通報  | 情報班  | 災害発生の前兆現象を高岡市へ通報  |
| 避難行動の判断  | ３  | 高齢者等避難の発令 ※指定避難所の開設  | 情報班  | 情報が発令されたことを本部へ報告  |
| 情報の通報  | 本部  | 今後の避難行動を判断し、各班長等へ指示  |
| 避難誘導  | 避難誘導班  | 危険な地域に住んでおり、避難に時間の要する人を安全な場所へ避難誘導  |
| 安否確認  | 避難誘導班  | 避難者の安否確認を行い、安否状況を本部へ報告  |
| ②発災直前  | 情報の通報  | ４  | 避難指示の発令  | 情報班  | 情報が発令されたことを本部へ報告  |
| 避難誘導  | 避難誘導班  | 危険な地域に住んでいる人を安全な場所へ避難誘導  |
| 安否確認  | 避難誘導班  | 避難者の安否確認を行い、安否状況を本部へ報告  |
| 避難誘導  | 避難誘導班  | 危険な地域に住んでおり、避難指示で、避難していない人への注意喚起および避難誘導  |
| ③災害発生時  | 避難行動  | ５  | 災害発生情報の発令  | 全住民  | 自らの命を守るための最善な行動  |
| 避難所開設・運営 | 避難所開設・運営班 | 夜間の大雨など緊急時は拠点避難所等を開錠避難所の運営 |
| 情報把握・収集・報告 | 情報班 | 避難所の避難者数の把握と市・本部（拠点避難所）への報告被害状況の収集と本部への報告 |
| 情報共有・報告 | 本部 | 避難者数・被害情報を集約、地区内共有。被害状況を市へ報告 |
| 救出活動 | 救出救命班 | 自らの命の安全を確保しつつ、救出・救助活動の実施 |
| ④復旧復興期  | 生活再建のため、各機関と連携する  |

警戒レベル・・・レベル１「災害への心構えを高める」 レベル２「避難行動を確認する」 レベル３「高齢者等は避難を始める」

レベル４「全員が避難する」 レベル５「命を守るため最善の行動をとる」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保 有 資 機 材 | 個　数 | 保　管　場　所 | 備　考 |
| 発電機  | 個 | ○○集会所 | ××地区自主防災組織連絡協議会 |
| リヤカー  | 個 | ××防災倉庫  | △△連合自治会 |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |
|   |   |   |   |

（２）平常時の活動

 ①防災訓練計画

防災訓練の実施種目や年度計画などを記載してください。

（例）

全住民対象、安否確認・初期消火などの「初動対応訓練」及び「避難所運営訓練」を各々年 1 回実施。

実施後、反省会を実施。課題を抽出し、課題解決に向けた検討を行い、翌年度以降の訓練計画に反映します。

 ②防災意識の普及啓発と人材の育成

住民の防災意識の高揚を図るための活動について記載してください。

（例）

* 年 1 回 新防災リーダー研修を実施
* 県や市が主催する防災リーダーフォローアップ研修への参加
* 防災訓練の実施報告を作成し、参加しなかった住民へ情報提供

③関係団体との連携

地区住民たけでは対応できないことについて、関係団体へ協力を求めるための活動計画を記載してください。

（例）

* 地域の災害時協力事業所と災害時のそれぞれの役割を検討、確認する防災研修会を実施している。今後も 2 年に 1 回実施する予定。

④その他

その他、平常時に行っておくことが望ましい活動を記載してください。

（例）

* 災害用資機材購入計画・備蓄計画やまち歩きなど

災害時の自主防災組織活動のイメージ

阪神淡路大震災や東日本大震災などの大規模地震災害時においては、公助による支援が行き届かず、発災後３日～７日間は地域コミュニティによる自助、共助における対応が重要となりました。このため発災時には、校区の自治会や自主防災組織が基軸となり、地域内各種団体の組織等が相互に連携し、地域資源を最大限に活用した災害対応を実施していくことが必要です。

 （３）発災直前の活動

大雨情報・台風情報ならびに避難情報・避難所開設情報を正確に入手し、どのような行動をとるか役員等が集まり検討しましょう。

事前に災害種別や警報、避難情報によって、どのような動きをするか、細かく想定しておくことが重要です。

（例）

①　会長、副会長は大雨情報・台風情報を入手し、対策を講じる必要があると判断した場合は、役員等と連携をとりながら、今後の行動を検討する。

②　いつでも地域住民へ情報を伝達できるよう、連絡体制の確認をする。

③　行政から避難情報・避難所開設情報が発令されたときは、指定緊急避難場所や地域で定めた一時避難場所への避難誘導を行い、安否確認を実施する。

※洪水時など指定緊急避難場所等へ避難する暇がない場合は、指定避難所へ直接避難したのち、安否確認を実施する。

* 安否確認が完了しだい、指定避難所まで避難誘導を実施する。

 （４）災害時の活動

行政の支援や救助が届かない状況または間に合わない状況では、自助、共助による助け合いが重要となります。災害時にみなさんがすべき行動を記載してください。

（例）

①　まずは自分自身の安全確保を行う。

②　近隣の安全確保を行うため、各町内班単位等で声かけを行う。

③　避難情報・避難所開設情報が発令されたときは、指定緊急避難場所や地域で定めた一時避難場所への避難誘導を行い、安否確認を実施する。

※各地域の浸水想定や、建物の建築年数などを踏まえ、在宅避難で対応すべき地域と指定避難所等への避難を要する地域をある程度明確にしておきましょう。

④　安否確認が完了しだい、指定避難所まで避難誘導を実施する。

⑤　夜間の大雨や地震発生時など緊急時は、自主防災組織等が拠点避難所等を開錠し、施設内の安全確認の後、避難者を屋内へ収容する。

⑥　避難所の運営は、地元住民が主体となって行う。

※学校側（教頭先生など）と使用可能部分、使用不可部分を必ず明確にしましょう。

⑦　安否が確認できなかった人への、携帯電話等への連絡・（必ず安全を確保したうえで）ご家庭への訪問などを実施する。

⑧　避難所の避難者数を把握し、市及び本部（拠点避難所）へ報告する。被害状況を収集し、本部へ報告する。緊急を要する被害は消防等へ通報する。本部は避難者数及び被害状況を集約し、地区内で共有する。水害等の被害状況について市へ報告する。

⑨　建物の倒壊に巻き込まれている人などの救出活動を実施する。

※救助が困難である場合は、無理をせず救助隊の到着を待つことも視野に入れましょう。

（５）復旧・復興期の活動

被災者を地域コミュニティ全体で支援すること、行政関係者、学識経験者等が連携し、地域の理解を得て速やかな復旧・復興活動を促進しましょう。

（例） 被災者への支援、復旧・復興活動の促進　など

（６）関係機関との連携

平時から復旧・復興期までのいずれの段階においても、行政関係者、学識経験者、消防団、地域団体および協力事業所等との連携・協力が重要になります。

 平常時から関係機関と協力し、地区防災計画を作りこみましょう。

 ５．実践と検証

（１）防災訓練の実施・検証

地区住民等が、災害時に地区防災計画に記載された防災活動を実施できるように、関係機関と連携して防災訓練を行いましょう。

 （２）防災意識の普及啓発

地区居住者等の防災意識を向上させ、災害に対応できるような人材を育成するため、クロスロードゲーム、防災運動会、図上訓練、避難所運営訓練などの普及啓発活動を実施することが重要です。

 （３）計画の見直し

防災訓練の検証結果等を踏まえ PDCA サイクルに従って、定期的に地区防災計画について見直しを行いましょう。

６．添付資料

|  |
| --- |
| 避難者→被災者管理班（名簿係） |

様式１

 （避難所名　　　　　） Ｎo.

**避難者名簿**

 避難者グループ名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入所 | 　　年　　月　　日　　時　　分 | 住所 |  |
| ふりがな氏　　名 | 年齢 | 性別 | 要配慮者 | 電話 |  |
| 携帯電話 |  |
| 代表者 |  |  |  |  | 所属自治会名 |  |
| 建物の被害状況 | 全壊・半壊・一部損壊断水・停電・ガス停止・電話不通 |
|  |  |  |  |
| 親族等連絡先 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  | 支援区分 | □避難所への入所を希望□在宅避難を希望 |
| ご家族に、入れ歯や眼鏡等の不備、病気等の特別な配慮を必要とする方がいる場合にご記入下さい。 |
| 特技や資格をお持ちの方がいらっしゃいましたら、氏名と特技・資格の内容をご記入下さい。氏名　　　　　　　　　　　　特技・資格 |
| 他からの問い合わせがあったとき よい住所、氏名を公表してもよいですか？ よくない | 登録日(入所日) | ※ |
| 退所 | 年　　月　　日　　　時　　分 |
| 転出先　　住所（氏名）電話 | 登録解除日(退所日) | ※ |

・この名簿は、入所時に代表の方が記入し、被災者管理班（名簿係）に提出して下さい。

・※印箇所は、被災者管理班(名簿係)が記入しますので、避難者の方は記入しないで下さい。

・名簿を提出することで、避難者として登録され、生活支援が受けられるようになります。

・内容に変更がある場合は、速やかに被災者管理班（名簿係）に申し出て修正して下さい。

・他からの問い合わせに対し、住所と氏名を公表してもよいか、必ず記入して下さい。

・名簿の内容を公表することにより、親族等に安否を知らせるなどの効果が想定されます。

　一方で、プライバシーの問題もあります。公表の可否については、ご家族で判断して下さい。

様式２

**避難所状況報告用紙[第　　　報]**

 避難所名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 送信者名 |  | 災害対策本部受信者名 |  |
| 報告日時 |  月 　日 　時 　分 | 避難所 FAX･TEL |  |
| 世帯数 | 現在数(A) | 前日数(B) | 差引(A-B) |
| 内訳 | 避難者 |  世帯 |  世帯 |  世帯 |
| 被災者 |  世帯 |  世帯 |  世帯 |
| 合計 |  世帯 |  世帯 |  世帯 |
| 人数 | 現在数(A) | 前日数(B) | 差引(A-B) |
| 内訳 | 避難者 |  人 |  人 |  人 |
| 被災者 |  人 |  人 |  人 |
| 合計 |  人 |  人 |  人 |
| 運営 | (避難者)組 |  編成済・未編成 | 地域 | 土砂崩れ | 未発見・あり・警戒中 |
| 避難所運営委員会 |  設置済・未編成 | ﾗｲﾌﾗｲﾝ | 断水・停電・ガス停止・電話普通 |
| 運営班 |  編成済・未編成 | 道路状況 | 通行可・渋滞・片側通行・通行不可 |
| 避難所運営委員会委員長名連絡先(TEL,FAX) |  |
| 連絡事項 |  |  　　対応状況 |  今後の要求、展開 |
| 総務班 |  |  |
| 施設管理班 |  |  |
| 避難者管理班 |  |  |
| 情報班 |  |  |
| 食料物資班 |  |  |
| 救護衛生班 |  |  |
| ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ班 |  |  |
| 行政担当者 |  |  |
| 施設管理者 |  |  |
| 対処すべき事項・予見される事項（水、食料の過不足/物資の過不足/風邪などの発生状況/避難所の生活環境/避難者の雰囲気など） |

※開設直後及び市から求めがあったときに市に報告する。

・連絡事項欄には、各班の活動において発生した問題やその解決策などを記入し、他の避難所運営の参考となるようにする。

・物資と食料については、別紙様式を利用する。

注）避難者：自宅が損壊等で住めなくなり、避難所で生活している人

　　被災者：自宅に住むことはできるが、ライフラインが停止して生活できず、避難所の施設を利用したり、物資の配給などのサービスを受けている人